



2025 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社エンバイオ・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 中村 賀一
(コード番号：6092 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 経 理 部 長 田中 雅弘
T E L 03-5297-7155 (代表)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以 上

資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応について

株式会社エンバイオ・ホールディングス
(証券コード:6092)

2025年5月15日



1. 現状分析・評価

2. 企業価値向上に向けた取り組み

3. ROIC向上

4. 目標ROEについて

5. 株主還元方針

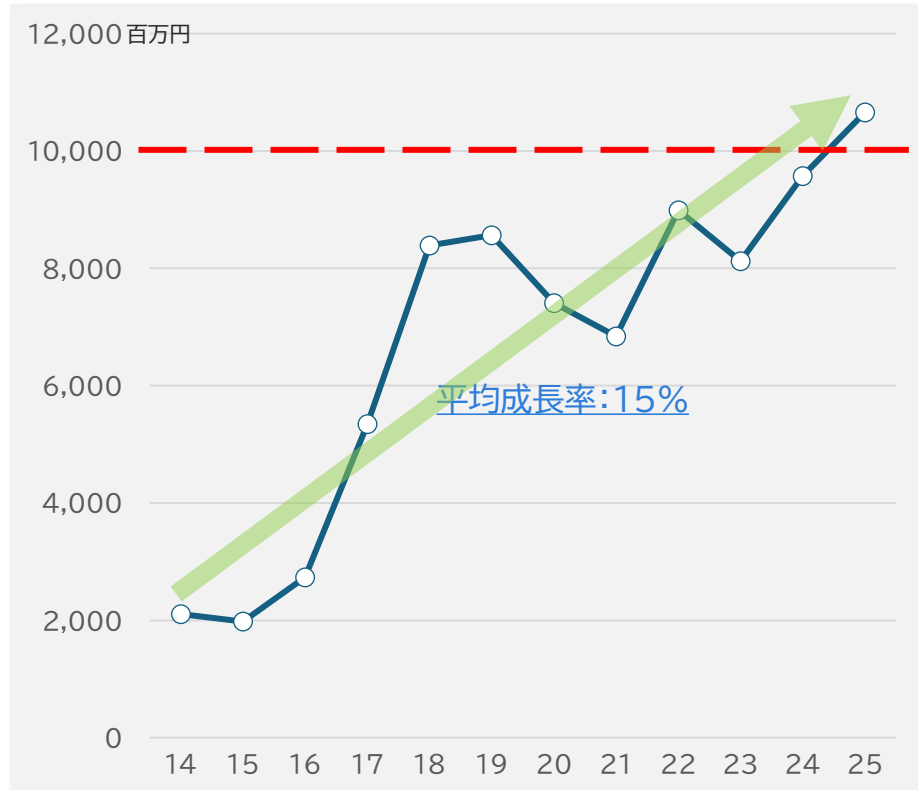
01

現状分析・評価

年度ごとに変動はあるものの概ね業績は順調に拡大を継続

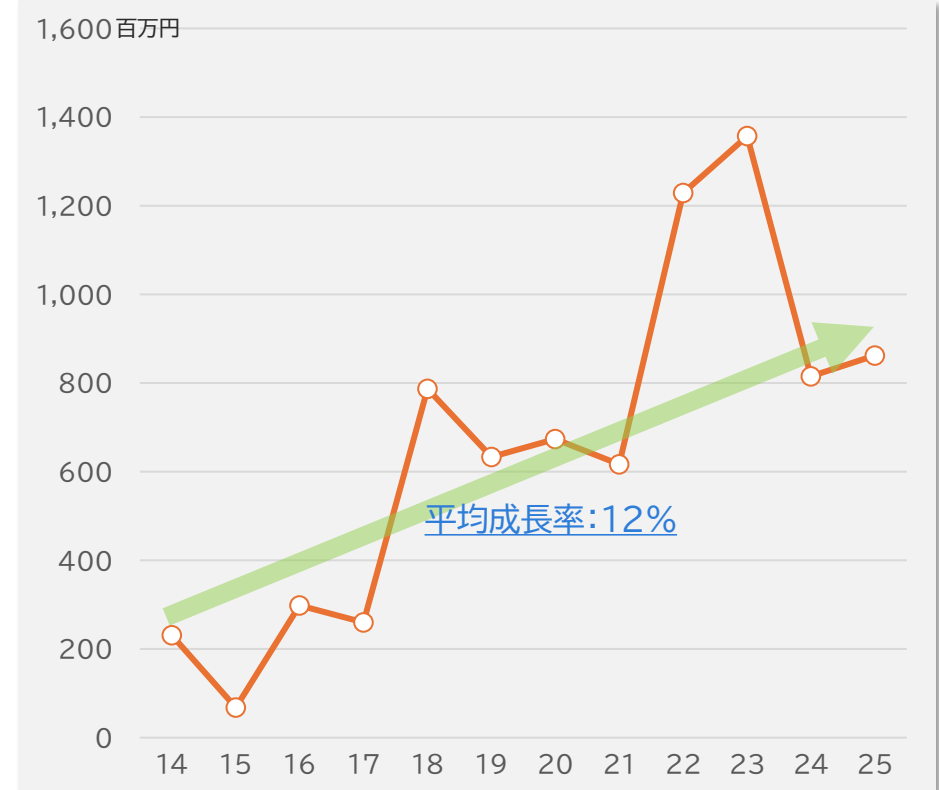
売上高推移

コロナ禍で足踏みするも上場以来平均成長率15%と順調な拡大を示す



営業利益推移

年度ごとのボラティリティが大きく安定的な利益成長が課題

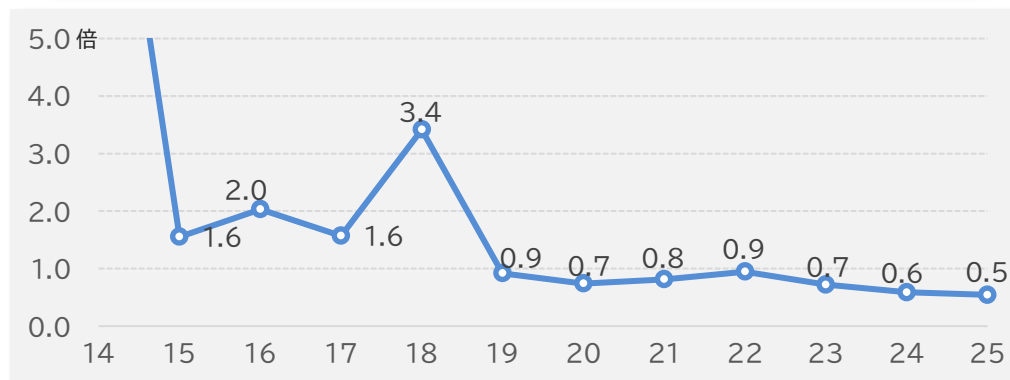


長期的にPBRが1倍を下回るなど市場評価向上が課題

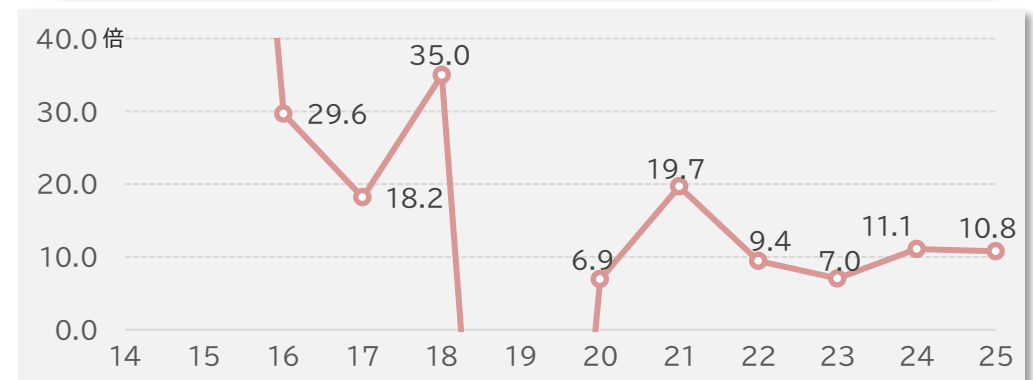
株価推移



PBR



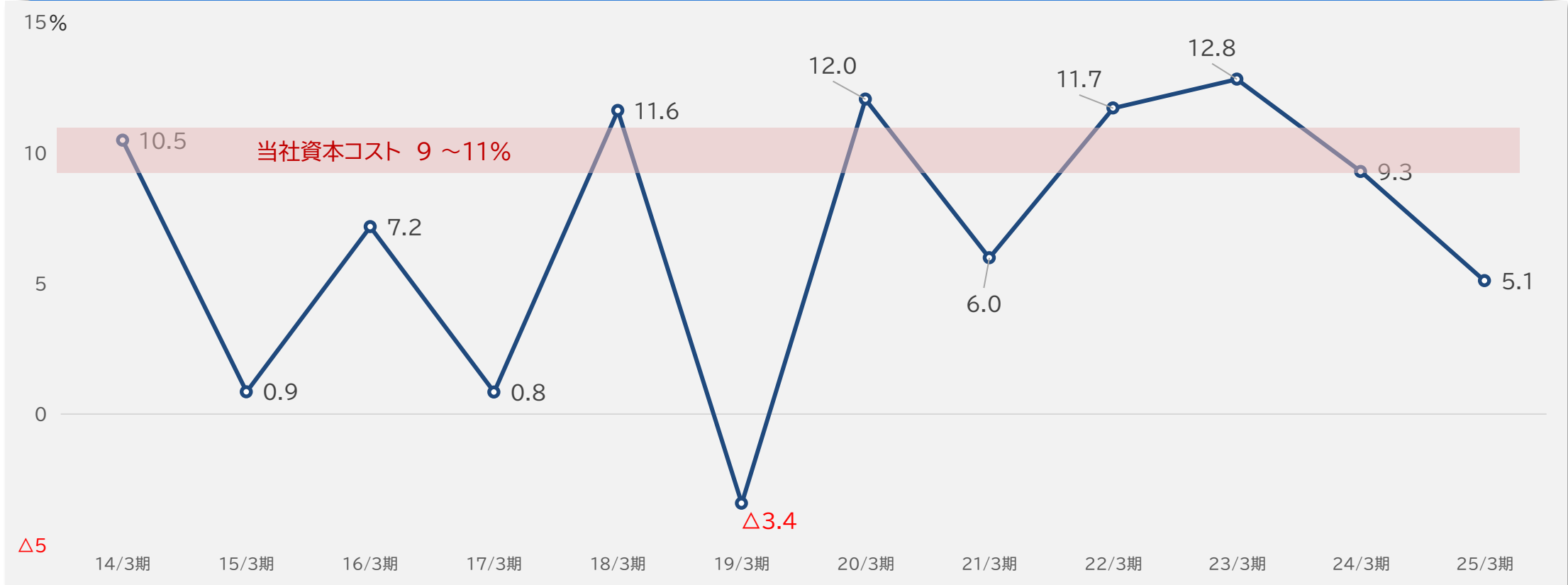
PER



ROE実績推移

市場が求める資本コストを十分に上回る水準を達成できていないことに加え、業績変動の大きさが資本コストを押し上げる要因となる可能性があることも認識

ROE

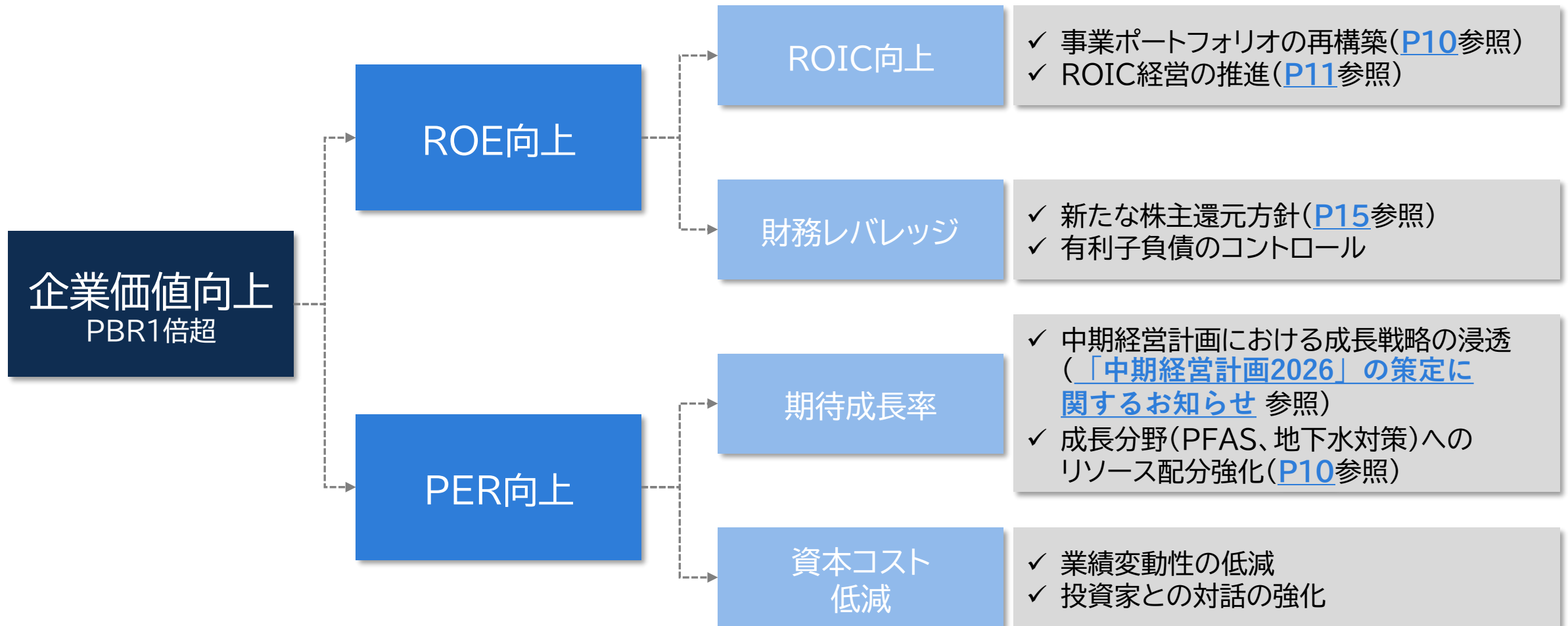


※資本コストはCAPMにより試算

企業価値向上に向けた 取り組み

02

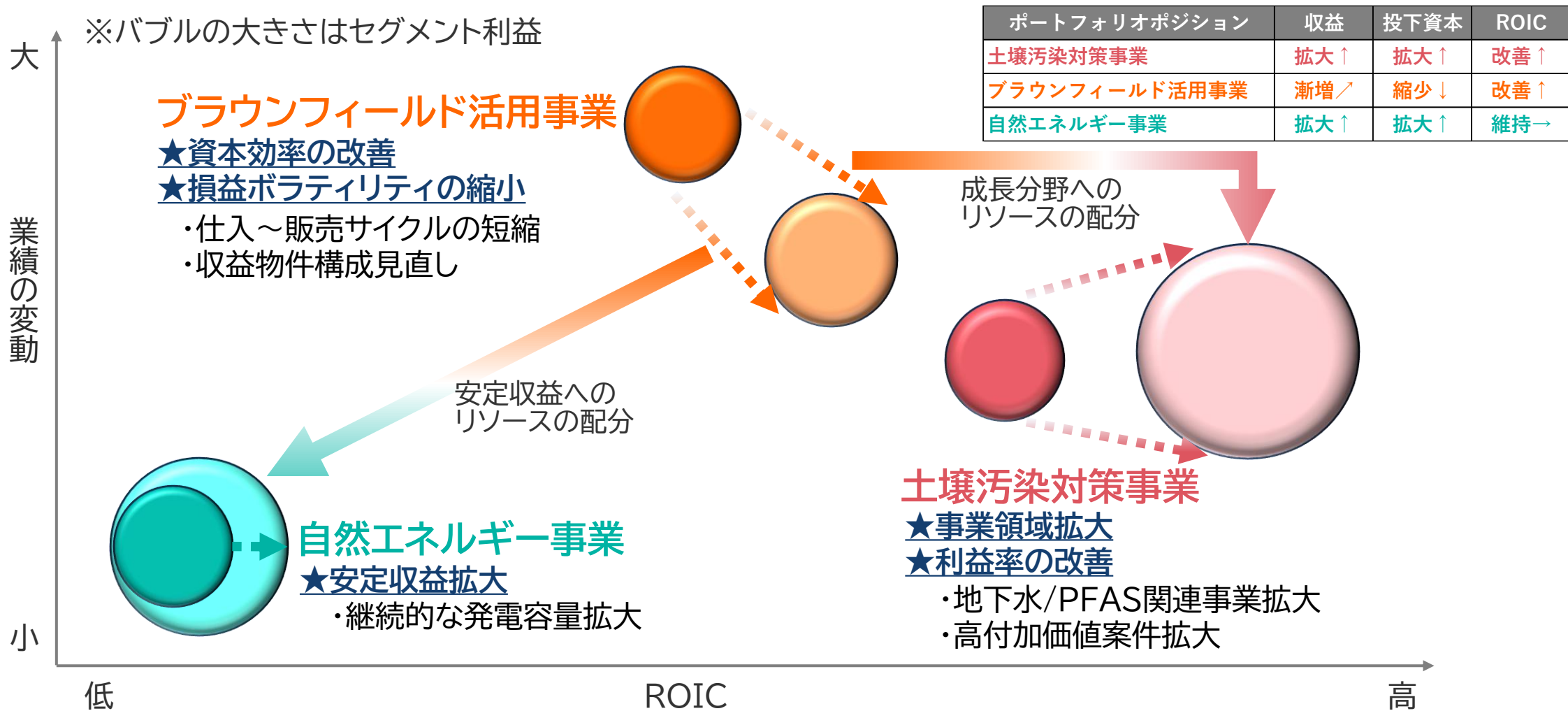
ROEとPERの両輪によるPBR1倍超えに向けた企業価値向上の全体戦略



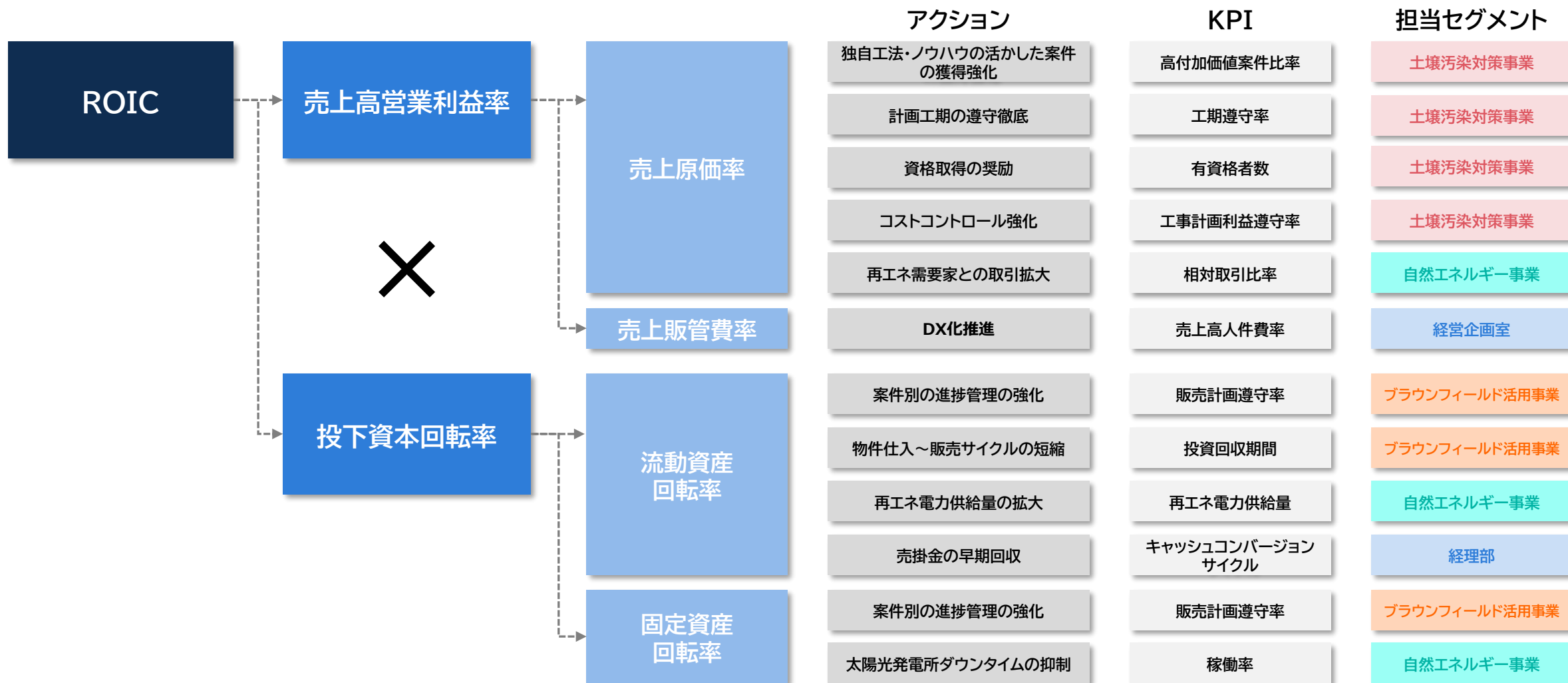
ROIC向上 03

事業ポートフォリオ再構築

事業ポートフォリオを資本効率と成長性の視点で再構築



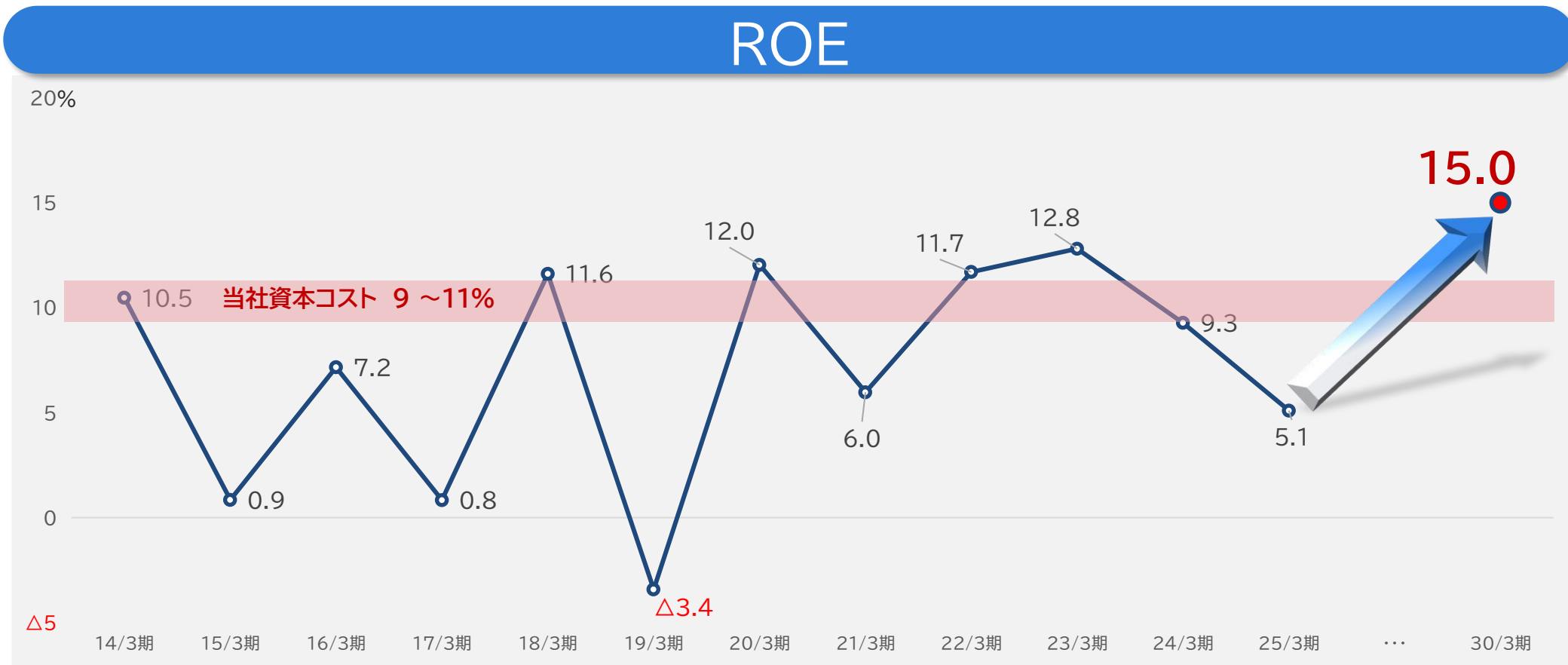
ROICツリーで戦略を構造化——部門別・施策別に改善余地を明確化



04 目標ROEについて

目標ROE

次期中期経営計画の最終年度(2030年3月期)までに **ROE15%** の達成を目標に設定



※資本コストはCAPMにより試算

05 株主還元方針

資本効率を踏まえた株主還元方針へ変更

変更前

当社は、「将来の事業展開のための内部留保の充実」と「成長に応じた利益還元」を両立させることを重要な経営課題として位置付け、継続的かつ安定的に配当することを基本方針としております。具体的には、ストックビジネスである自然エネルギー事業の既設設備から得られる収益の約30%を当面の配当原資とすることで配当の安定的な増加の実現を目指します。

変更後

当社は、資本効率の向上と株主還元の充実を重要な経営課題と位置付けており、市場環境や株価水準、財務状況等を踏まえ、配当と自己株式の取得を総合的に勘案した柔軟な還元を実施し、**目標ROE15%に向けた資本コントロール**を行ってまいります。配当に関しては、ストックビジネスである自然エネルギー事業の既設設備から得られる収益の約30%を当面の配当原資とすることで、**累進的配当方針を基本とします。**

本資料および本説明会における予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んだものであります。従いまして、実際の業績等は、様々な要因により記載の内容とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向や競争激化による価格下落圧力などです。
なお、業績に影響を与えうる要因は、これらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先
株式会社エンバイオ・ホールディングス
IR担当者

E-mail
ebh-info@enbio-corp.com

Website
<https://enbio-holdings.com/>